

ボクシング専門部・熱中症対策ガイドライン

危機管理委員名 阿久津 祐一

(所属校名) 小山高等学校

熱中症対策

【事前の対策】

安全意識の徹底	熱中症の危険性を周知徹底し、意識の向上を図る。
熱中症情報の周知	熱中症に関するガイドラインを会場内に事前に貼付しておく。
休憩時間の確保	危機管理委員を中心に適切な時間に一定時間の休憩時間を採るよう計画する。
医事との連携	熱中症等が発生した場合を想定して、医事と事前に連携を図る。
気温湿度のチェック	競技実施時間の熱中症危険度を事前に把握する。
WBGTの確認	WBGTの指標を目安にして、専門部委員長に実施の可否を判断する。
体調不良者の確認	各校顧問を中心に、生徒の体調管理に努める。
飲料水の確保	主催者側が飲料水（OS1など）を準備し、熱中症対策にあてる。
食べ物の管理	生徒及び関係者の昼食が傷まないよう冷蔵庫等を使えるよう準備をする。
冷房機器の管理	冷房使用の可否や扇風機などの準備を会場責任者及び施設管理者と連携する。

【大会／試合時の対策（当日の対応）】

安全意識の徹底	熱中症の危険性を周知徹底し、十分注意するよう呼びかける。
熱中症情報の周知	熱中症に関するガイドラインが明示されているか確認する。
休憩時間の確保	危機管理委員を中心に当日の気温等を踏まえて休憩時間を確保する。
医事との連携	熱中症等が発生した場合を想定して、医事と連携を図る。
気温湿度のチェック	競技実施時間の熱中症危険度を適宜把握し、専門部委員長に報告する。
WBGTの確認	WBGTの指標を目安にして、専門部委員長に中止・再開の判断を促す。
体調不良者の確認	各校顧問を中心に、生徒の体調管理に努め、不調の場合医事から助言を受ける。
飲料水の確保	主催者側が準備した飲料水（OS1など）を適宜配布する。
水分補給の呼びかけ	危機管理委員を中心に適切な時間に一定時間の水分補給をするよう呼びかける。
食べ物の管理	生徒及び関係者の昼食が傷まないよう冷蔵庫等を使うよう促す。
冷房の適宜使用	会場責任者及び施設管理者と連携を図り、冷房を使用し室温を管理する。